

(事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月15日

事業所名 COMPASS発達支援センター 諫早

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対しての基準スペースは確保されています。また、個室やパーテーションを利用し個々の特性に合った空間の利用をしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			定員基準の職員配置数は満たした上で、利用定員にあった職員配置で対応できています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			現在、対象児童となる利用児童はいませんが、建物は車いすに対応出来るようになっており、机等の配置も車いすが通れるスペースが確保できています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員で支援の振り返りを行い、個々の子どもの様子を話し情報共有を行いながら支援を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からのご要望やアンケートの結果を元に改善すべき点を話し合い、実施しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表はホームページ上で公開しています。また、今年度より事業所で会報を発行できるように準備を進めています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現状では、第三者による評価は実施できておりませんので、今後の検討課題として前向きに検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間スケジュールをたて、外部講師及び社内研修等で職員の資質の向上のための学びの機会を逃さず確保しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様や学校、相談支援事業所と、定期的に連絡・担当者会議などを通して、その時々に必要な課題を検討し、見直しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			一般的に基準となる標準化されたアセスメントに、更に付加事項を加えたツールを事業者で作成し利用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動の中で個別に必要な課題を話し合い、職員間で共通認識を持って活動を組み立てています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別活動では個々に必要な課題を提供し、集団活動では利用児童が季節を感じ、生活体験が積めるような活動を計画しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学習の時間を中心に活動を組み立て、長期休暇など支援時間が長いときは、子ども達の楽しめる時間も考慮し支援を行っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日は学習を中心に療育を行っていますが、季節の行事の製作を計画したり、集団での活動も取り入れるようにしています。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の朝、職員間で話し合いを行い、共通認識のもと準備・支援を行っています
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、または翌朝の指導開始前に、特に気になった利用児童の様子などは、その都度話を行うようにし、場を設け全職員での情報共有を行えるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は当日、または翌日（送迎等で当日に書けなかった場合）には記入しており、特に気になる子どもの様子については言葉でも伝え情報共有が出来るように努力している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者様からの聞き取りは、送迎時などに日々行いつつ、定期的にモニタリングを行い、必要に応じて学校や相談支援事業所とも連絡を取りながら判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			利用児童の特性に合わせ、ガイドラインに沿った基本活動を組み合わせさせた具体的な支援内容を設定しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			対象となる利用児童に常に関わり、特性や状況をよく理解している職員が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用開始前に学校を訪問し、担任の先生を交えて送迎場所や時間、送迎者の確認をし顔合わせを行い、必要に応じて連絡取り合い、情報共有を行なっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、対象児童はいませんが、今後、対象児童が通所する場合には各所との連携を図り、支援体制を整えていけるよう配慮いたします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前の幼稚園等への訪問を行い、相談支援事業所や保護者との連絡を密に取り、情報共有が出来るように努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			現在までに対象となる利用児童はいませんが、相談支援事業所などとも連絡を取り合い、情報提供が出来る仕組みは準備できています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			市を通して派遣される支援センターの研修を受講しており、その他の研修や学びの場の機会を逃さず、今後も継続していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状では、放課後児童クラブ・児童館・障害のない子どもとの交流の機会はありませんが、長期休暇などには地域児童と関わる機会を検討して参ります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			部会への参加、その他の会議にも積極的に参加させて頂いています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の送迎時やお迎えの時に機会を逃さず、保護者様とご家庭での様子や事業所での様子を伝えあい、お困りごとについても、情報交換を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者様との日常的な会話の中で、利用児童との関わり方のアドバイスを行ったり、事業所での関わり方をお伝えし、参考にして頂いています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書や利用契約書を通して詳しく説明を行い、納得して頂いています。また、運営規程については出入り口に掲示し、常に目につくようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様から丁寧に話を聞き、事業所での対応事例をお伝えし、また施設内でも職員間で相談ごとについて話し合い、その都度、保護者様へアドバイスできるようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者様も参加できる行事の検討を行い、保護者同士が顔見知りになる機会を設けられるよう、年間計画を立てています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		現在のところ苦情等はなく、対応の機会はありませんでしたが、苦情の連絡先は契約時に確認するとともに、掲示等で周知を行っており、迅速に対応できるように体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		イベントや行事前にはお手紙でお知らせを行っていますが、今後、定期的にお便りを出すようにして参ります。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		保管は鍵付きの書庫で保管しています。利用時には机上に放置せず、都度仕舞う様にしております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口頭で話すときは言葉の使い方や、態度にも気を配り、できる限り2名以上で対応するようにしています。また、口頭で伝わりにくい場合は書面でお知らせするなど工夫しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地元の老人クラブの方との交流や、施設近辺の方との交流できる機会を設けています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルは契約時に詳細に説明させていただくとともに、常に事業所入り口に掲示し、周知に努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		開所間もなくまだ訓練は行っていませんが、利用児童達と避難経路の確認を行い、定期的に訓練を行うよう年間計画に組み込んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待については職員間で話を行い、適切に対応するよう心掛けていますし、また、市の虐待防止マニュアルを使って事業所内研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、該当の児童はいませんが、事前に聞き取りを行い、職員間で情報を共有・掌握し、事故防止に努めます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所にてヒヤリハットの記録をとり、ファイルにして、いつでも見直しができるようにしています。	